

事務事業評価シート

事務事業コード	013700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	果樹振興対策事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	令和元年度 ~ 令和元年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	果樹振興対策事業費		予算事業コード	01-05-01-03-22-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取いなば農業協同組合又は生産組織、認定農業者若しくは果樹の担い手
意図 (どのような状態 にするために)	果樹生産の総合的な振興を図る
手段 (どうするのか)	苗木等購入経費等を支援

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①果樹振興支援(新改植) ②梨新品種等導入支援 ③柿ぶどう等新品種等導入支援 ④共同利用機械導入支援	①果樹振興支援(新改植) ②梨新品種等導入支援 ③柿ぶどう等新品種等導入支援 ④共同利用機械導入支援	①果樹振興支援(新改植) ②梨新品種等導入支援 ③柿ぶどう等新品種等導入支援 ④共同利用機械導入支援	①果樹振興支援(新改植) ②梨新品種等導入支援 ③柿ぶどう等新品種等導入支援 ④共同利用機械導入支援	①果樹振興支援(新改植) ②梨新品種等導入支援 ③柿ぶどう等新品種等導入支援 ④共同利用機械導入支援	
	年度別実績	①補助:0件 (申請なし) ②補助:2件 ③補助:4件 ④補助:1件	①補助:2件 ②補助:6件 ③補助:4件 ④補助:1件	①補助:1件 ②補助:11件 ③補助:2件 ④補助:0件	①補助:3件 ②補助:7件 ③補助:4件 ④補助:0件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,420	7,726	9,716	11,364	0	
	直接経費 A	5,976	6,262	8,267	9,926	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,711	5,354	6,712	8,194	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	894	860	0
一般財源	265	908	661	872	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	果樹(新品種等)の新改植面積	アール	目標	100	100	100	100	100	
				実績	50.09	57.65	51.23	204.19	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P140(農012)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>果樹の生産拡大に必要な経費の支援を行うことで、果樹生産の総合的な振興を図る。</p> <p>(1) 果樹振興対策事業(単市)</p> <p style="padding-left: 20px;">5a以上の新改植経費に対し10,000円/aを上限に補助(補助率1/2)</p> <p style="padding-left: 20px;">対象：梨・柿・ぶどう・桃・ビワ・栗(対象品種：新品種・振興品種以外)</p> <p>(2) 鳥取梨生産振興事業</p> <p style="padding-left: 20px;">梨の新品種(新甘泉、秋甘泉)及び県振興品種の導入とそれに伴う基盤整備等経費の支援及び育成奨励。</p> <p>(3) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業</p> <p style="padding-left: 20px;">柿の新品種(輝太郎)及び県振興品種の導入とそれに伴う基盤整備等経費の支援及び育成奨励。</p> <p>(4) 低コスト・体制強化事業</p> <p style="padding-left: 20px;">機械の共同利用体制を整備し、廃園防止・産地維持に取組むための機械導入に係る経費の支援。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 果樹振興対策事業(単市)：令和元年度 3件(栗新植等)</p> <p>(2) 鳥取梨生産振興事業：令和元年度 7件(新甘泉他苗木、かん水施設等)</p> <p>(3) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業：令和元年度 4件(ぶどう苗木、ハウス、果樹棚等)</p> <p>(4) 低コスト・体制強化事業：令和元年度 0件(申請なし)</p> <p style="padding-left: 20px;">平成29年度 6,262千円</p> <p style="padding-left: 20px;">平成30年度 8,267千円</p> <p style="padding-left: 20px;">令和元年度 9,926千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>果樹の栽培面積が減少している中、本事業を活用し、新品種の植栽、機械・施設の導入を進め、果樹産地を維持していく必要がある。</p> <p>その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	果樹(新品種等)の新改植面積	50%	58%	51%	204%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も継続して実施するが、導入誘導する品種や機械などの、市場ニーズ、労働生産性、付加価値などを把握し、更なる農業所得の向上につながるよう、事業内容の精査を行う必要がある。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	013800	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-31-30	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地区・集落や小規模生産者等が取り組む、特色ある農産物やブランド農産物など、各地域・産地に適した農産物、加工品の
意図 (どのような状態にするために)	生産拡大と産地育成を総合的に行うとともに市場等への一定量の出荷を確保し、
手段 (どうするのか)	生産振興による地域活性化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		①加工品生産投資支援 ②小規模生産者生産体制整備支援 ③地域特産品出荷支援 ④ブランド農産物開発宣伝支援 ⑤生産規模拡大支援 ⑥残留農薬検査投資支援	①特産品生産等むらづくり支援事業 ②地場野菜生産振興対策事業 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援	①特産品生産等むらづくり支援事業 ②地域特産品出荷支援 ③生産規模拡大支援	①特産品生産等むらづくり支援事業 ②地場野菜生産振興対策事業 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援	①特産品生産等むらづくり支援事業 ②地場野菜生産振興対策事業 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援
年度別実績	①補助:5件 ②補助:0件(申請なし) ③補助:3品目 ④補助:0件(申請なし) ⑤補助:4件 ⑥補助:10キット	①補助:4件 ②補助:2件 ③補助:3品目 ④補助:4件	①補助:4件 ②補助:3品目 ③補助:2件	①補助:1件 ②補助:1件 ③補助:3品目 ④補助:0件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	5,950	4,904	4,516	3,366	0
	直接経費 A	4,803	3,747	3,361	2,445	0
	国・県	112	205	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	79	0	86	0	
一般財源	4,691	3,463	3,361	2,359	0	
人件費 B	1,147	1,157	1,155	921	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	嘱託職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	臨時職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]推進品目総数	品目	目標	8
			実績	8	8	8	8	0
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。							
2	出荷量	t	目標	45	50	50	50	50
			実績	48	50	45	42	0
	(指標の説明) ブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷量							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P141(農013)</p> <p>【事業の概要】 特色ある農産物やブランド農産物など、各地域・産地に適した農産物、加工品の生産拡大と産地育成を総合的に行い、生産振興による地域活性化を図る。</p> <p>(1) 特産品生産等むらづくり支援事業 地区、集落等が取り組む特産品開発研修、販路拡大活動、機械・資材導入支援 補助率：2/3以内(補助金上限30万円)</p> <p>(2) 地場野菜生産振興対策事業 小規模生産者が取り組む、地場野菜の生産体制の整備に要する経費への支援 補助率：1/2以内(補助金上限30万円)</p> <p>(3) 地域特産品振興対策事業 作付拡大しているブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷に対する支援 補助率：ブロッコリー40円/kg、アスパラガス80円/kg、生姜5円/kg</p> <p>(4) 野菜生産拡大支援事業 生産規模拡大に係る資材等の経費に対する支援 補助率：1/3以内</p> <p>【事業の成果】 (1) 特産品生産等むらづくり支援事業：1件 (2) 地場野菜生産振興対策事業：1件 (3) 地域特産品振興対策事業：ブロッコリー13t/アスパラ22t/生姜7t (4) 野菜生産拡大支援事業：0件</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施。 その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	【KPI】推進品目総数	100%	100%	80%	57%	
	2	出荷量	107%	100%	90%	84%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>現在推進している農産物の更なる振興を図ることから、振興品目総数を現状維持としたため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>費用対効果の検証を行い、効率的な事業運用に努め、継続実施する。</p>		
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>			

事務事業評価シート

事務事業コード	013900	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	農産物販路拡大支援事業		所属名	農林水産部	農政企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農産物販路拡大支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-35-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農産物、加工品等
意図 (どのような状態にするために)	本市の農産物の販路開拓、拡大に繋げる。
手段 (どうするのか)	関東、関西圏において農産物等のPR活動、市場ニーズや流通方法などの調査・検証を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み	平成29年度 ①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	平成30年度 ①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	令和元年度 ①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	令和2年度 ①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	
	年度別実績	①大阪中之島でのグリーンマーケットの実施によるPRと販路開拓(48回/年)と大阪でのPRイベント開催(2回) ②関西圏のバイヤー等を鳥取市に招致しての商談会の実施 ③企業への営業活動	①大阪中之島でのグリーンマーケットの実施等によるPRと販路開拓(33回/年) ②関西圏のバイヤー等を対象とした商談会の実施(1回) ③企業への営業活動(随時)	①大阪中之島でのグリーンマーケットの実施等によるPRと販路開拓(35回/年) ②関西圏のバイヤー等を対象とした商談会の実施(2回) ③企業への営業活動(随時)	①大阪中之島でのとり旬菜マルシェの実施等によるPRと販路開拓(38回/年) ②関西圏のバイヤー等を対象とした商談会の実施(3回) ③企業への営業活動(随時)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,936	18,978	13,055	15,460	0	
	直接経費 A	6,492	15,532	9,560	14,022	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	1,638	2,412	6,350	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,492	13,894	7,148	7,672	0		
人件費 B	3,444	3,446	3,495	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	[KPI]大手企業等とのマッチング件数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			件	目標	1	1	1	1	1	
				実績	1	1	1	2	0	
	(指標の説明) 営業活動により大手企業等と取引が成立した件数									
	2	新規販路開拓(取引成立)件数	件	目標	5	5	5	5	5	
				実績	8	10	8	10	0	
(指標の説明) 販路開拓により飲食店等との新たな取引が成立した生産者の件数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P142(農015)</p> <p>【事業の概要】 大手企業等とのマッチングによる有利な販路の確立等、農業所得の向上と産地育成を図る取組を行う。また、本市で生産される農林水産物のイメージアップと消費拡大・販路開拓に取組み、農林水産物のブランド化と産地育成を図る。 ・大手企業との農林水産物のマッチング(誘致企業や大手スーパー等) ・企業等のニーズ調査と実需にあった産地化への取組 ・マルシェ(中之島フェスティバルタワー)を基点とし、関西情報発信拠点と連携した販路開拓 ・首都圏向け新商品開発</p> <p>【事業の成果】 ・商談会の開催による小売業、飲食業等との取引の成立(大手2件、その他5件) ・関西圏の飲食業等への営業活動による取引の成立(新規取引3件) ・とっとり旬菜マルシェ等の開催(38回/年) ・新商品の開発(6事業者) 　　<実績> 平成29年度　15,532千円 平成30年度　9,560千円 令和元年度　14,022千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市農林水産物のPR・営業活動を引き続き実施し販路開拓を行うとともに、誘致企業や県外企業の本市への農業参入を促進し、産地化による農業振興を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	【KPI】大手企業等とのマッチング件数	100%	100%	100%	200%	
	2	新規販路開拓(取引成立)件数	160%	200%	160%	200%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>引き続き、地域商社ととっとり連携した商談会の開催や催事等への出展により新たな販路開拓を行っていくとともに、首都圏や関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化への取組みを行っていく。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	014000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	ふるさと村推進支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ふるさと村推進事業費補助金		予算事業コード	01-05-01-02-03-06	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	トットリ・アフトピア協会会員、むらづくり団体、加工グループ等
意図 (どのような状態 にするために)	四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。
手段 (どうするのか)	年間、900便以上の目標を掲げ、継続して実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①市報・ケーブルテレビ・市のHP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,910	3,476	2,006	3,211	0	
	直接経費 A	1,110	701	499	497	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,110	701	499	497	0		
人件費 B	2,800	2,775	1,507	2,714	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	1.40	1.40	1.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	ふるさと宅配便発送数	便	目標	1000
	(指標の説明)		実績	1162	882	769	614	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-30-8302</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P135(農002)</p> <p>【事業の概要】 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を「ふるさと宅配便」として届けることにより、販路を拡大し、所得向上を図る。 9割以上を県外消費者に向けて発送しており、本市と本市産品のPRに寄与している。 実施回数 年3回(8月、10月、12月) 宅配品目 鳥取市で生産される農林水産物及び加工品等 料 金 1便当たり4,800円</p> <p>【事業の成果】 <ふるさと宅配便申込み数> 平成29年度 882便 平成30年度 769便 令和元年度 614便</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の農林水産物のPRと販売拡大を目指し、継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	ふるさと宅配便発送数	116%	88%	85%	68%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>申込方法をFAX・対面受付からFAX・インターネット受付へ変更したことによる影響が考えられる。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>事務の簡素化を図るとともに、発送個数の増加を図るため、広報も充実させていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014100	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	畜産振興事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成19年度 ~ 平成29年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	畜産振興対策事業費		予算事業コード	01-05-01-04-06-14	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	肉用牛及び乳用牛
意図 (どのような状態 にするために)	牛を飼養している農家の経営力の強化を図る。
手段 (どうするのか)	放牧料や配合飼料購入費等に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援 ④大規模農場乳用牛導 入支援	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援 ④大規模農場乳用牛導 入支援	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援 ④大規模農場乳用牛導 入支援	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,609	18,043	12,183	3,434	0	
	直接経費 A	1,887	17,311	11,459	2,715	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,887	17,311	11,459	2,715	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	肉用牛放牧頭数	頭	目標	100
	(指標の説明)		実績	115	102	117	120	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P146(農023)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>優良な牛を育てる農家に対し支援することにより畜産振興及び地域ブランド「因幡和牛」の知名度を上げ消費拡大を図る。</p> <p>(1) 肉用牛放牧奨励事業(補助率：1/10) 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。</p> <p>(2) 肥育素牛安定導入対策事業(補助率：1/6) JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。</p> <p>(3) 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業(補助率：1/20) 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。</p> <p>(4) 大規模農場支援事業(補助率：定額(50千円/頭)) メガファームを整備した酪農家を対象に、牛導入経費の一部を支援する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 肉用牛放牧奨励事業：120頭(10農家)</p> <p>(2) 肥育素牛安定導入対策事業：出荷頭数345頭(7農家)</p> <p>(3) 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業：発動無し</p> <p>(4) 大規模農場支援事業：実績無し</p> <p><実績></p> <p>平成29年度 17,311千円 平成30年度 11,459千円 令和元年度 2,715千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>本市の畜産振興を図るうえで必要な事業であり継続して実施するが、より効果的な事業内容となるよう検討を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	肉用牛放牧頭数	115%	102%	117%	120%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>本市の畜産振興を図るうえで必要な事業であり継続して実施するが、より効果的な事業内容となるよう県と連携し事業の推進を図っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	林産物振興対策事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人		
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3		
実施の目標	新規林業従事者数		6人	6人	運営方法	補助金交付
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林産物振興対策事業費		予算事業コード	01-05-02-29-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	椎茸の生産者他
意図 (どのような状態にするために)	椎茸産地として持続的な発展を目指す。
手段 (どうするのか)	椎茸の種菌購入やほだ木購入等に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成
年度別実績	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 《実績》 支援件数 3件	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 《実績》 支援件数 2件	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 《実績》 支援件数 2件	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 《実績》 支援件数 2件	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 《実績》 支援件数 1件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,131	2,534	1,264	1,128	0	
	直接経費 A	409	1,802	540	409	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	409	1,802	540	409	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	椎茸生産量	t	目標	26
			実績	26	26	29	31	0
	(指標の説明) 鳥取市におけるしいたけ生産量(乾換算)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P160(農052)</p> <p>【事業の概要】 林産物振興対策を行う。 1 椎茸の菌種購入の助成 2 椎茸の販売促進に関する助成 3 原木購入経費の助成 4 施設整備に要する経費の助成</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 1,802千円 支援件数2件 平成30年度 540千円 支援件数2件 令和元年度 409千円 支援件数1件 (菌種購入)</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して支援する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	椎茸生産量	100%	100%	104%	111%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>「茸王」の生産振興とブランド化を図るため引き続き支援する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	集落営農体制強化支援事業		所属名	農林水産部	農政企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人		
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3		
実施の目標	新規林業従事者数		6人	6人	運営方法	補助金交付
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	集落営農体制強化支援事業補助金		予算事業コード	01-05-01-06-21-04	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	集落の水田面積の過半で経営等を行う計画を有する集落営農組織
意図 (どのような状態にするために)	集落の農地を維持できる体制づくり
手段 (どうするのか)	組織が作成する計画(集落営農ビジョン)に沿った機械施設の整備等に要する経費を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別計画	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定
年度別実績	①集落営農ビジョン策定数 2 ・中大路楽農舎の機械導入経費の一部助成 1,796千円 ・岡益営農組合の機械導入経費の一部助成 2,265千円	①集落営農ビジョン策定数 1 ・用瀬町美成営農生産組合の機械導入経費の一部助成 2,684千円	集落営農ビジョン策定数 1 ・佐治町つく谷営農組合の機械導入経費の一部助成 1,472千円 ・中大路楽農舎の機械導入経費の一部助成 2,639千円	集落営農ビジョン策定数 1 ・ラブグリーン細見の機械導入経費の一部助成 1,971千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	6,227	4,880	6,284	4,128	0
	直接経費 A	4,061	2,684	4,111	1,971	0
	直接経費の内訳					
	国・県	2,707	1,789	2,740	1,314	0
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,354	895	1,371	657	0	
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	集落営農ビジョン数	件	目標	2	1	1	1	1
				実績	2	1	2	1
(指標の説明) 農地の集積率50%以上を目指した集落営農ビジョンの策定が要件となっている。								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P149(農029)</p> <p>【事業の概要】 小規模農家が共同で営農を行う集落営農組織は、地域の水田農業を守る担い手として重要であり、組織化当初の経営安定を図るため、機械施設の整備などを支援する。</p> <p>【事業の成果】 機械施設整備支援 1組織 <実績> 平成29年度 1組織 2,684千円 平成30年度 2組織 4,111千円 令和元年度 1組織 1,971千円</p> <p>【今後の課題方向性】 高齢化が進む集落の農地を維持し、耕作放棄地とならないよう農家が一体となって取り組む集落に今後も支援していく必要があり、県事業に合わせ継続して実施</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	集落営農ビジョン数	100%	100%	200%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通りに事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	高齢化が進む集落で労力軽減となる機械導入に支援することが出来た。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>集落の耕作放棄地の増加を防止し、農地を維持するため必要な事業であり継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	企業等農業参入促進事業		所属名	農林水産部	農政企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	企業等農業参入促進支援事業費補助金		予算事業コード	01-05-01-06-21-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	建設業等の他分野から新規参入し、農業経営の初期段階にある企業等
意図 (どのような状態にするために)	参入時の負担を軽減することで意欲的な企業等の新規参入を促進し、担い手不足を解消するため
手段 (どうするのか)	農業用機械施設導入経費の助成

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			①農業参入企業への設備投資費用の補助	①農業参入企業への設備投資費用の補助	①農業参入企業への設備投資費用の補助	①農業参入企業への設備投資費用の補助	①農業参入企業への設備投資費用の補助
	年度別実績	①農業参入企業への設備投資費用の補助(製造業会社の大豆栽培に係る作業用機械、土木工事業会社の水稲・野菜栽培に係る作業用機械の導入支援)	①農業参入企業への設備投資費用の補助(29年度は実績無し)	①農業参入企業への設備投資費用の補助(30年度は実績無し)	①農業参入企業への設備投資費用の補助(元年度は実績無し)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,225	732	724	719	0	
	直接経費 A	9,503	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	9,503	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	参入法人数	法人	目標	2	1	1	1	1
				実績	2	0	0	0
(指標の説明) 他分野からの新規参入の法人数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P149(農030)</p> <p>【事業の概要】 建設業等の他分野から新規参入した企業等が農業振興に寄与することを目的とし、機械、施設の整備等を支援することによって意欲的な企業等の参入促進を図る。</p> <p>【事業の成果】 農業参入の促進のため、農業用機械施設整備を支援 (実績) 平成29年度 0千円 平成30年度 0千円 令和元年度 0千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 担い手不足解消の一対策として、企業の新規参入を促進を行う。 なお、企業を安定的な担い手としてくためには、参入の際に事業計画の妥当性等を十分に確認するとともに、事業実施後も中途での事業撤退とならないよう、相談、指導などの取り組み強化を図る必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	参入法人数	100%				
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業者の都合により事業が中止となったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>新しい担い手(企業)の農業への参入を促進することにより、地域農業の振興につながることを期待されることから、継続して事業を実施する必要があります。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014500	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農推進事業		所属名	農林水産部 農政企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	新規就農推進事業費		予算事業コード	01-05-01-02-10-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	とっとりふるさと就農舎および研修生
意図 (どのような状態にするために)	とっとりふるさと就農舎の研修生を安定的に確保し新規就農者への移行を推進するため
手段 (どうするのか)	施設の指定管理委託や研修生の生活支援等を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ※就農意欲の高い若者を呼び込みそれらに対して研修期間中生活支援を行うことで、その定着を図り新規就農者へと育成する。	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名
年度別実績	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 2名 ・アドバイザー設置 4名 ・就農準備金支給 2名 ・住宅修繕助成 2名 他	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 2名 ・アドバイザー設置 2名 ・就農準備金支給 0名 他 ※住宅修繕助成は29年度より廃止	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 0名 ・アドバイザー設置 0名 ・就農準備金支給 2名 他	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 0名 ・アドバイザー設置 0名 ・就農準備金支給 0名 他		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	18,815	16,675	11,974	11,811	0
	直接経費 A	14,649	12,497	9,801	9,654	0
	国・県	1,338	0	200	2,067	0
	地方債 その他 一般財源	0 0 13,311	0 0 12,497	0 0 9,601	0 0 7,587	0 0 0
人件費 B	4,166	4,178	2,173	2,157	0	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	研修生の確保数	人	目標	2
	(指標の説明) 当該年度に新規に就農舎に入る研修生数		実績	1	2	0	0	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P136(農004)</p> <p>【事業の概要】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行う。 また、地域農業の担い手として位置づけられる農業経営主が将来経営を移譲する親族(子)に対し、その技術や経営ノウハウ等を習得させるための研修を行う場合に支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 とっとりふるさと就農舎指定管理料 6,046千円 親元就農促進支援事業 3名 3,100千円 <実績> 平成29年度 12,497千円 平成30年度 9,801千円 令和元年度 9,654千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢化、後継者不足が大きな課題となっており、就農意欲の高い者に支援を行い、荒廃農地の増加を防ぐ。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	研修生の確保数	50%	100%			
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新規研修生確保に向け、臨時の就農相談、就農フェアにおける就農相談ブース出展など積極的な取り組みを行ったが、結果的に、市と相談者との条件が合わず研修生の確保に結びつかなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も継続して実施するが、昨今の国内における経済動向、農業に関する新技術、市内産地における後継者に対する意向、農地状況などを把握し、新規研修生確保に結び付けるための事業内容の精査を行う必要がある。また新規パンフレットの作成など、広報の面でも広く就農希望者に情報を周知できるように努める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014600	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農営農支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	新規就農営農支援事業費		予算事業コード	01-05-01-02-10-09	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定新規就農者
意図 (どのような状態 にするために)	青年者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため
手段 (どうするのか)	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付等を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。
年度別実績	①新規就農者の確保 ・青年就農給付金 25人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 20人 ・住居家賃助成 6人	①新規就農者の確保 ・青年就農給付金 22人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 18人 ・住居家賃助成 3人	①新規就農者の確保 ・青年就農給付金 19人 ・就農応援交付金 2人 ・農地賃借料助成 18人 ・住居家賃助成 2人	①新規就農者の確保 ・青年就農給付金 16人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 13人 ・住居家賃助成 2人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	51,416	41,621	44,790	31,847	0
	直接経費 A	49,250	39,425	42,617	29,690	0
	国・県	43,688	35,980	36,743	26,280	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	5,562	3,445	5,874	3,410	0	
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	新規就農者 (指標の説明) 年度中に青年等就農計画の認定を受けた者の数	人	目標	2	2	2	2	2
				実績	3	5	0	2
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P137(農005)</p> <p>【事業の概要】 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として給付金の給付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、住居家賃助成等による支援を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>青年就農給付金等補助金</td> <td>16人</td> <td>20,208千円</td> </tr> <tr> <td>就農応援交付金</td> <td>1人</td> <td>200千円</td> </tr> <tr> <td>農地賃借料助成事業</td> <td>13人</td> <td>862千円</td> </tr> <tr> <td>住居家賃助成</td> <td>2人</td> <td>240千円</td> </tr> <tr> <td>就農条件整備事業</td> <td>4人</td> <td>5,624千円</td> </tr> </table> <p><実績> 平成29年度：39,425千円 平成30年度：42,617千円 令和元年度：29,690千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 就農時の負担を軽減し、経営の安定と農業への定着を図るため、事業の内容を見直しつつ継続して支援していく必要がある。</p>	青年就農給付金等補助金	16人	20,208千円	就農応援交付金	1人	200千円	農地賃借料助成事業	13人	862千円	住居家賃助成	2人	240千円	就農条件整備事業	4人	5,624千円
	青年就農給付金等補助金	16人	20,208千円													
就農応援交付金	1人	200千円														
農地賃借料助成事業	13人	862千円														
住居家賃助成	2人	240千円														
就農条件整備事業	4人	5,624千円														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	新規就農者	150%	250%		100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通りの事業完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新たな新規就農者も確保し、目標通りの実施することが出来た。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な手段であり今後も継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	農地集積等対策事業		所属名	農林水産部	農政企画課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m ³	58,000m ³	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農地集積等対策事業費		予算事業コード	01-05-01-06-01-06	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の担い手、農業者等
意図 (どのような状態 にするために)	持続可能な力強い農業を実現するため、地域・集落が抱える人と農地の問題解決を図る。
手段 (どうするのか)	地域において話し合いを進め、地域農業の中心となる担い手や担い手に集積すべき農地などを定めた、人・農地プランを作成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	人・農地プランの中心経営体への農地集積・集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更新に係る地元検討会の実施(14地域) ③地域への担い手の掘り起し	人・農地プランの中心経営体への農地集積・集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更新に係る地元検討会の実施(14地域) ③地域への担い手の掘り起し	人・農地プランの中心経営体への農地集積・集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更新に係る地元検討会の実施(14地域) ③地域への担い手の掘り起し	人・農地プランの中心経営体への農地集積・集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更新に係る地元検討会の実施(14地域) ③地域への担い手の掘り起し	人・農地プランの中心経営体への農地集積・集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更新に係る地元検討会の実施(14地域) ③地域への担い手の掘り起し	人・農地プランの中心経営体への農地集積・集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更新に係る地元検討会の実施(14地域) ③地域への担い手の掘り起し
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	49,957	41,702	38,633	11,771	0	
	直接経費 A	43,791	35,542	36,460	9,614	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	31,791	27,590	27,680	3,087	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		2,945	2,461	2,455	2,447	0	
一般財源	9,055	5,491	6,325	4,080	0		
人件費 B	6,166	6,160	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	2.00	2.00	0.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	人・農地プラン作成集落	集落	目標	14
			実績	11	13	14	4	0
	(指標の説明) 集落において話し合いを進め、人・農地プランに計画を挙げた集落数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305 【10次総の施策体系】2104 【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・P148(農027)</p> <p>【事業の概要】 農業者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が増加する中、農地の保全と安定した生産確保のため、担い手の規模拡大や農地の集約化及び耕作放棄地解消を目的に農地の貸付を促進している。担い手への農地集積・集約化を図り、規模拡大を行った認定農業者に対する助成、地域の中心となる経営体の育成・確保に取り組んでいる。</p> <p>【事業の成果】 (1)人・農地問題解決加速化支援事業(国費、市費) 地域連携推進員活動費 2,299千円(嘱託職員1名分賃金)(市費) 市町村活動費 77千円(報償費)(国費10/10) (2)農地集積・集約化対策事業費(国費) 経営転換協力金 2,197千円(集積に協力する面積14.7ha) (3)農地中間管理事業推進費 推進員活動費、消耗品費、役員費 2,447千円(嘱託職員1名分賃金、事務費) (4)農地流動化推進事業費補助金 補助金 2,592千円(一定期間の利用権設定を行った認定農業者へ補助) <実績> 平成29年度 35,542千円 平成30年度 36,460千円 令和元年度 9,614千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域農業の中心となる経営体(個人、法人、集落営農組織)の確保や地域の中心となる経営体への農地集積を支援することにより、持続可能な農業を実現する必要がある。その他財源の諸収入は、農地中間管理事業等受託収入。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成率	1	人・農地プラン作成集落	79%	81%	100%	29%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画の通り事業完了した。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	制度見直しにより、地域への協力金の交付が対象とならなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

実質化された人・農地プラン等の現状の制度にあわせた農地集積の推進を行う。

事務事業評価シート

事務事業コード	014800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	機構集積支援事業		所属名	農業委員会事務局 農業委員会事務局	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	農地法第30条及び32条
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人		
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3		
予算	予算事業名		機構集積支援事業費		会計区分	一般会計
	予算事業コード		01-05-01-01-04-06		予算事業コード	01-05-01-01-04-06

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	利用状況調査で再生可能と判断された遊休農地。
意図 (どのような状態 にするために)	利用状況調査で再生可能と判断された遊休農地の所有者等に対し、今後の利用意向を確認するとともに遊休農地を解消するため担い手への農地集積・集約化を促進する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 7月から11月にかけて市内全域の農地の一斉現地調査を行う。 現地調査の結果、再生可能とされた遊休農地の所有者等に利用意向調査を実施。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施
	年度別実績	①実施委員数45人、管内農地7,127ha ②305件(うち所有者数451人)面積32.4ha	①調査員88人、管内農地7,125ha ②238件(うち所有者数244人)面積26.9ha	①調査員88人、管内農地7,116ha ②468件(うち所有者数281人)面積45.9ha	①調査員88人、管内農地7,087ha ②323件(うち所有者数213人)面積25.3ha		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	55,190	49,663	49,098	48,593	0	
	直接経費 A	407	1,495	1,269	1,158	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	407	1,122	1,206	1,094	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	373	63	64	0		
人件費 B	54,783	48,168	47,829	47,435	0		
職員数の内訳	正規職員	7.00	6.00	6.00	6.00	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	利用意向調査の回答のうち、耕作・貸出希望など農地利用を行うと回答した面積割合	%	目標	100
			実績	86.19	63.85	32.84	63.38	0
	(指標の説明) 毎年7月以降に農地の状況を調査する。指標はその調査が完了した農地所有者全員への利用意向確認の達成率。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農地係 0857-30-8481</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P252(各種012)</p> <p>【事業の概要】 農地の生産性を高め、競争力を強化していくためには担い手への農地集積・集約化を加速し、生産コストを削減していく必要があることから、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が平成26年度に設立された。 農地中間管理機構が担い手への農地集積・集約化を促進するに当たって、機構集積支援事業費を活用し、農業委員会の必須業務とされた農地の利用の最適化を図る。 1. 農地利用状況調査(農地パトロール)の実施。管内全域の農地を調査し、再生可能と判断された遊休農地の洗い出しを行った。 2. 農地利用意向調査の実施。現地調査の結果、再生可能と判断された遊休農地の所有者に対し、今後の利用意向を郵送にて調査を行った。</p> <p>【事業の成果】 (農地利用意向調査対象農地所有人数・面積) 平成29年度 対象人数：244人、対象面積26.9ha 平成30年度 対象人数：281人、対象面積45.9ha 令和元年度 対象人数：213人、対象面積25.3ha</p> <p>【今後の課題・方向性】 農業委員会法の改正に伴い、「農地利用等の最適化の推進」を行うことが重要な業務として位置づけられたことから、管内の農地を保全して地域農業を振興していくために、未回答者に対し回答を促し、農地所有者の意向を遅滞なく把握するとともに、農業委員、および農地利用最適化推進委員との情報共有化を図ることとする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	利用意向調査の回答のうち、耕作・貸出希望など農地利用を行うと回答した面積割合	86%	64%	33%	63%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	年度内に対象者からの回答を得ることができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	年々、農地所有者の高齢化、後継者の減少、相続人の分散化などにより農地の管理意識が希薄となり回答率の低下につながったと考えられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>農業従事者の高齢化や担い手不足により遊休農地が増大する中、この事業は農地を保全し、遊休農地の解消を図るものであり、引き続き実施していくこととする。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014901	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	林業担い手育成事業(福祉向上)		所属名	農林水産部	林務水産課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	その他
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林業労働者福祉向上推進事業負担金			予算事業コード	01-05-02-01-10-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業者
意図 (どのような状態にするために)	林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、森林整備の担い手である林業労働者を育成、確保する。
手段 (どうするのか)	(財)鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業(林業労働者の共済年金掛金の一部助成)に要する経費を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	
	年度別実績	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成 《平成28年度実績》 1,253千円	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成 《平成29年度実績》 1,532千円	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成 《平成30年度実績》 1,466千円	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成 《令和元年度実績》 1,525千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,975	2,264	2,190	2,243	0	
	直接経費 A	1,253	1,532	1,466	1,524	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,253	1,532	1,466	1,524	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	加入者数	人	目標	218	220	220	220	220	
				実績	218	244	237	237	0	
	(指標の説明) 林業労働者の共済加入者総数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P153(農037)</p> <p>【事業の概要】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため(財)鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業(林業労働者の共済年金掛金の一部助成)に要する経費を助成する。 事業主体 (財)鳥取県林業担い手育成財団 負担区分 市町村 4/10 (県 4/10) (林業団体等 2/10)</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 1,532千円 平成30年度 1,466千円 令和元年度 1,524千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	加入者数	100%	111%	108%	108%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り林業の発展に資するため、引き続き県と同調して助成を行っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014902	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	林業担い手育成事業(雇用条件改善)		所属名	農林水産部	林務水産課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林業労働者雇用条件改善事業費			予算事業コード	01-05-02-01-16-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業体
意図 (どのような状態にするために)	林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、林業の担い手育成を促進する。
手段 (どうするのか)	市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対し経費の一部を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	平成29年度 ①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	平成30年度 ①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	令和元年度 ①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	令和2年度 ①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	
	年度別実績	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 ≪平成28年度実績≫ 5,333千円	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 ≪平成29年度実績≫ 5,743千円	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 ≪平成30年度実績≫ 6,514千円	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 ≪令和元年度実績≫ 6,379千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,055	6,475	7,238	7,098	0	
	直接経費 A	5,333	5,743	6,514	6,379	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,666	2,872	3,257	3,189	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,667	2,871	3,257	3,190	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	助成者人数	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					実績	30	30	30	30	30	
	2	(指標の説明) 林業担い手新規雇用者(雇用開始から5年目まで)人数	目標	0	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	0	
	3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P153(農038) 12月補正・P15(農005)</p> <p>【事業の概要】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対し経費の一部を助成する。 補助率 県：1/4、市：1/4(事業主体：1/2)</p> <p>【事業の成果】 健康保険、厚生年金の事業主負担に係る補助を行い、担い手育成の促進に寄与した。 平成29年度 5,743千円 29人 平成30年度 6,514千円 31人 令和元年度 6,379千円 31人</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	助成者人数	97%	97%	103%	103%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

林業労働者の高齢化による担い手不足の解消のため、今後も県と同調しながら担い手育成に対する支援を行っていく。

事務事業評価シート

事務事業コード	015000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	栽培漁業推進支援事業		所属名	農林水産部	林務水産課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	栽培漁業推進支援事業費		予算事業コード	01-05-03-02-22-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	稚貝等放流を実施する鳥取県漁業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	稚貝等を放流することにより水産資源の維持増殖を図り水産業の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	稚貝等放流を実施する鳥取県漁業協同組合に対して稚貝等購入経費を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	①稚貝等放流 アワビ 25,001個 サザエ 19,500個 イワガキ 350個 キジハタ 21,965尾	①稚貝等放流 アワビ 23,200個 サザエ 49,000個 イワガキ 1,000個 キジハタ 23,250尾 ワカメ 210m	①稚貝等放流 アワビ 23,700個 サザエ 51,000個 イワガキ 1,000個 キジハタ 26,841尾 ワカメ 270m	①稚貝等放流 アワビ 23,700個 サザエ 53,000個 イワガキ 1,000個 キジハタ 27,420尾 ワカメ 300m		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,700	1,807	1,842	1,866	0	
	直接経費 A	978	1,075	1,118	1,147	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	978	1,075	1,118	1,147	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	稚貝放流量	千個	目標	50	50	50	50	50
	実績			44.9	73.2	75.7	77.7	0
2	(指標の説明) 稚貝放流量	千尾	目標	20	20	20	20	20
	実績			22	23	27	27	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
	実績			0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P165(農062)</p> <p>【事業の概要】 水産資源の維持増殖のため鳥取県漁協が行う稚貝等放流事業へ県と連携して支援する。</p> <p>【事業の成果】 水産資源の維持増殖等を図った。 アワビ：23,700個、サザエ：53,000個、イワガキ：1,000個、 キジハタ：27,420尾、ワカメ：300m</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">内市費</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">5,383千円</td> <td style="text-align: right;">1,075千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">5,636千円</td> <td style="text-align: right;">1,118千円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: right;">5,743千円</td> <td style="text-align: right;">1,147千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 水産資源維持増殖のために寄与していると思われるが、その効果を把握できる指標等の設定が必要と考えられる。</p>		事業費	内市費	平成29年度	5,383千円	1,075千円	平成30年度	5,636千円	1,118千円	令和元年度	5,743千円	1,147千円
	事業費	内市費											
平成29年度	5,383千円	1,075千円											
平成30年度	5,636千円	1,118千円											
令和元年度	5,743千円	1,147千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成率	1	稚貝放流量	90%	146%	151%	155%	
	2	稚魚放流量	110%	115%	135%	135%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>水産資源維持増殖による漁業振興を図るため、県と連携しながら事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015101	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業(農政企画課)		所属名	農林水産部	農政企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	令和元年度 ~ 令和元年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-45-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農林漁業者、法人、任意組織、農漁協、食品加工業者等
意図 (どのような状態にするために)	元気な農業者を育成し、農林水産業の振興、経済活性化を図る
手段 (どうするのか)	6次産業化や農商工連携による取り組みに対し助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの構築	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	
	年度別実績	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(4件) ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件)	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(3件) ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件)	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(2件) ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(1件) ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(1件) ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(1件) ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	14,722	13,810	724	719	0	
	直接経費 A	14,000	13,078	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,500	9,809	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	3,500	3,269	0	0	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	6次産業化取り組み農家件数	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実績	1	1	0	0	0						
	(指標の説明) 本事業を活用して、農業振興に資した農家(団体)の件数												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P143(農018)</p> <p>【事業の概要】 農林漁業者自らが加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組む6次産業化や、農林産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取り組む農商工連携を推進することにより、農林漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図ることを目的とし、事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業(ハード、ソフト事業)に対し助成する。 補助率 1/2(内訳：県1/3 市1/6) 新規雇用等条件を満たせば高上げ補助(県1/3 県1/2)</p> <p>【事業の成果】 令和元年度：なし</p> <p>【今後の課題・方向性】 農家の所得アップに有効な6次産業化を進めるため、県・金融機関・商工団体等と連携した農家等の支援を行っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	6次産業化取り組み農家件数	50%	50%			
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>取り組み希望の事業者はいたが、事業活用までに至らなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>農家の所得向上に有効な6次産業化を進めるため、県・金融機関・商工団体等と連携し、農家等の支援を行っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015102	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業(林務水産課)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
新規林業従事者数		6人	6人	予算事業コード	01-05-03-02-32-01	
予算	予算事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業			予算事業コード	01-05-03-02-32-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	6次産業化や農商工連携による取り組みについて意欲のある漁業者や連携する食品加工業者
意図 (どのような状態にするために)	6次産業化や農商工連携を発展させることにより、新しい事業展開や流通改革を実現し、本市水産業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	6次産業化や農商工連携に係る推進活動及び生産体制を含めた施設・機械の整備に対して支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①6次化事業の支援	①新規事業者の創出	①新規事業者の創出	①新規事業者の創出	①新規事業者の創出	
	年度別実績	①販売促進活動、機器整備に係る支援	①新規事業者なし	①新規事業者なし	①新規事業者なし		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	788	0	0	0	0	
	直接経費 A	66	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	44	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	22	0	0	0	0	
人件費 B	722	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	6次化事業件数	件	目標	1	1	1	1	1	
				実績	1	1	1	1	0	
	(指標の説明) 水産業に伴う6次化事業件数(累計)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1. 新規事業者なし</p> <p>2. 過去の推移</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>事業費</td> <td>実施件数</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>漁獲物の付加価値を高め所得向上につながる可能性のある取り組みではあるが、商品開発や販路確保などに要する手間を考慮すると取り組みに前向きな漁業者等が少ないため、この機運の醸成が必要。</p>	事業費	実施件数	平成29年度	-	平成30年度	-	令和元年度	-
事業費	実施件数								
平成29年度	-								
平成30年度	-								
令和元年度	-								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	6次化事業件数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>事業実施の申請により補助事業を行うこととしているため、本年度は事業実施がないが問題はないと考える。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>漁業者の所得向上や雇用確保など水産振興に資する取組であり、前向きに実施する事業者があれば継続して支援を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	漁業研修事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	漁業研修事業費		予算事業コード	01-05-03-02-33-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	新規就業に要する漁労技術や経営方法等の習得のため漁業研修事業を実施する漁業協同組合等
意図 (どのような状態 にするために)	漁業就業者の減少と高齢化の進行による漁業の衰退を防ぐため、若年層の漁業への新規参入を促進し、漁業振興を図る。
手段 (どうするのか)	漁業研修に要する経費を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①研修事業実施	平成29年度 ①研修事業実施	平成30年度 ①研修事業実施	令和元年度 ①研修事業実施	令和2年度 ①研修事業実施	
	年度別実績	①研修事業 雇用型 6名 独立型 1名	①研修事業 雇用型 4名	①研修事業 雇用型 2名 独立型 1名	①研修事業 雇用型 3名 独立型 2名		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,836	2,860	4,776	7,985	0	
	直接経費 A	8,114	2,128	4,052	7,266	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,154	1,932	3,615	6,440	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	960	196	437	826	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	研修人数	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					実績	3	3	3	3	3	
	2	(指標の説明) 漁業研修人数			目標	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	
	3	(指標の説明)			目標	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P166(農064) 6月補正・P22(農008)</p> <p>【事業の概要】 新規漁業就業に際し必要となる漁労技術や経営方法等の習得を目的として、漁業組合等が行う研修事業に要する経費を県と連携して支援する。</p> <p>【事業の成果】 新規就業希望者に対する漁労技術等の習得に寄与した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">研修人数</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">2,128千円</td> <td style="text-align: center;">4人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">4,052千円</td> <td style="text-align: center;">3人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">7,266千円</td> <td style="text-align: center;">5人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保のため、漁業所得や労働環境の更なる向上等を図るとともに、効果的な広報活動を要する。</p>		事業費	研修人数	平成29年度	2,128千円	4人	平成30年度	4,052千円	3人	令和元年度	7,266千円	5人
		事業費	研修人数										
平成29年度	2,128千円	4人											
平成30年度	4,052千円	3人											
令和元年度	7,266千円	5人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	研修人数	233%	133%	100%	167%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>水産振興のため、県と連携し事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	水産資源維持増殖事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	水産資源維持増殖事業費		予算事業コード	01-05-03-02-01-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池漁業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	内水面漁業における魚種苗放流事業等水産資源の維持増殖により本市水産業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業や漁獲量向上・安定化に資する取組へ支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①稚魚放流等	①稚魚放流等	①稚魚放流等 ②漁場整備に資する取組への支援。	①稚魚放流等 ②漁場整備に資する取組への支援。	①稚魚放流等 ②漁場整備に資する取組への支援。	①稚魚放流等 ②漁場整備に資する取組への支援。
年度別実績	①稚魚放流等 アマサギ卵 500万粒 ウナギ稚魚 30kg	①稚魚放流等への漁協からの申請なし。	①稚魚放流等への漁協からの申請なし。 ②漁場整備に資する取組への支援。	①稚魚放流等への漁協からの申請なし。 ②漁場整備に資する取組への支援。	①稚魚放流等への漁協からの申請なし。 ②漁場整備に資する取組への支援。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	954	732	1,124	1,119	0	
	直接経費 A	232	0	400	400	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	232	0	400	400	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	放流量	kg	目標	50
	(指標の説明) 魚類放流量		実績	30	0	0	0	0
2	漁獲量	t	目標	0	0	60	60	60
	(指標の説明) シジミの年間漁獲量		実績	0	0	68.8	103.7	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P162(農056)</p> <p>【事業の概要】 水産資源の維持増殖を図るため、湖山池漁港が行うウナギ等稚魚放流やシジミ漁場整備に要する経費への支援。</p> <p>【事業の成果】 1. 放流については、他の有利な補助金を活用して実施。(H29～R元；ウナギ放流30kg) 良好なシジミ漁場の整備のために支障となる、池口の魚止め等の撤去費用を支援。 2. 過去の推移</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>事業費</td> <td>ウナギ放流</td> <td>漁場整備</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>-</td> <td>魚止撤去一式</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>-</td> <td>魚止撤去一式</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 現在の主要な漁獲物である「シジミ」の更なる漁獲量の増大や安定化に資する取組に対する支援へ転換を図る。</p>	事業費	ウナギ放流	漁場整備	平成29年度	-	-	平成30年度	-	魚止撤去一式	令和元年度	-	魚止撤去一式
事業費	ウナギ放流	漁場整備											
平成29年度	-	-											
平成30年度	-	魚止撤去一式											
令和元年度	-	魚止撤去一式											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	放流量	60%				
	2	漁獲量			115%	173%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	放流については、他の有利な補助金を活用して実施しており問題ない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>湖山池水産振興に資することを主眼とした維持増殖策へ柔軟な支援を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015401	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	ため池総合整備事業(山上・水根地区)		所属名	農林水産部 農村整備課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 令和元年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要 綱等
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費		予算事業コード	01-05-01-05-04-22	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①ため池改修 1箇所 ②ハザードマップ作成	平成29年度 ①用地買収、補償 1式	平成30年度 ①ため池改修 1箇所	令和元年度 ①ため池改修 1箇所	令和2年度 《令和元年度で事業完了》	
	年度別実績	①ため池改修 1箇所 ②ハザードマップ作成	①用地買収、補償 1式	①ため池改修 0箇所	①ため池改修 1箇所	《令和元年度で事業完了》	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,344	1,036	4,298	4,073	0	
	直接経費 A	3,200	890	4,153	3,929	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	2,500	700	3,271	3,000	0
		その他	400	111	519	491	0
一般財源	300	79	363	438	0		
人件費 B	144	146	145	144	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	整備済ため池数	単位	箇所	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	1	1	0	1	0			
	2	(指標の説明) ため池整備を実施し、整備完了となったため池数	目標	0	0	0	0	0			
			実績	0	0	0	0	0			
	3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0			
			実績	0	0	0	0	0			

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の概要】 馬場堤(山上地区)及び湯坂谷池(水根地区)を改修する。取水施設の老朽化が著しく取水管理が困難となっており、馬場堤は相当量の漏水、湯坂谷池については漏水に起因した堤体陥没が発生しており、早急な改善措置を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度～令和元年度 ・総事業費 198,268千円 ・負担区分 国55% 県29% 市14% 地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所 ・受益戸数 74戸・受益面積 16ha <p>【事業の成果】</p> <p>平成29年度 890千円 平成30年度 4,153千円 令和元年度 3,929千円(平成30年度繰越)</p> <p>【今後の課題・方向性】 令和元年度の繰越事業にて事業完了。 その他財源の負担金は、地元負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	整備済ため池数	100%	100%		100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	予定していたため池の整備が完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	改修の必要なため池の整備が完了し、ため池の機能回復が図れた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>防災重点ため池を中心に、引き続き防災・減災対策を推進する必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015500	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	中山間地域等直接支払事業		所属名	農林水産部 農村整備課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 令和元年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	中山間地域等直接支払交付金 実施要領等
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中山間地域等直接支払交付金		予算事業コード	01-05-01-06-04-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中山間地域等において集落等を単位に、5年以上継続して農業生産活動を行う農業者等に交付する交付金
意図 (どのような状態 にするために)	条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払いを実施することにより、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。
手段 (どうするのか)	協定の締結、履行確認、交付金の交付などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	132,530	134,292	132,944	132,732	0	
	直接経費 A	109,595	110,795	111,428	111,881	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	80,372	82,172	82,667	82,759	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	184	4	153	0
一般財源	29,223	28,439	28,757	28,969	0		
人件費 B	22,935	23,497	21,516	20,851	0		
職員数の内訳	正規職員	2.90	2.90	2.90	2.90	0.00	
	嘱託職員	1.00	0.00	0.25	0.40	0.00	
	臨時職員	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	協定数	協定	目標	133	132	136	136	0
				実績	133	132	136	136
2	(指標の説明) 取り組み団体の協定数	ha	目標	789	794	825	834	0
				実績	789	794	825	834
3	(指標の説明) 対象農用地の保全面積		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-30-8316</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P177(農086) 9月補正・P17(農006)</p> <p>【事業の概要】 条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。 ・対象地域 特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地(田1/20以上、畑15度以上)及び緩傾斜地(田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上)で面的まとまりのある農用地等 ・対象者 協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う農業者等 ・事業期間 平成27年度より5年間(第4期対策) ・事業費 110,621千円(負担割合：三法地域：国50%、県25%、市25% 知事特認地域：国33%、県33%、市34%) ・事務費 1,711千円(負担割合：国100%)</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 110,795千円 平成30年度 111,428千円 令和元年度 111,881千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 中山間地域で農業生産活動を行う農業者等を支援することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。 その他財源の諸収入は、協定からの返還金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	協定数	100%	100%	100%	100%	
	2	対象農用地面積	100%	100%	100%	100%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り事業実施できた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業計画に基づき、予定通り取り組みが図られた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

中山間地域の耕作放棄地発生防止や集落機能の維持に大きく寄与している。高齢化等により協定参加者が減少し、役員等の人材が不足するなど課題があり、事務負担の軽減等を国に働きかけ、引き続き農地の保全を維持する必要がある。

事務事業評価シート

事務事業コード	015600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	農業基盤整備促進事業		所属名	農林水産部 農村整備課		

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度～令和2年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	農業基盤整備促進事業実施要綱
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農業基盤整備促進事業費		予算事業コード	01-05-01-05-56-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用施設（農道、かんがい施設、ほ場など）
意図 (どのような状態にするために)	老朽化した農業用施設のきめ細かな整備、大型機械等への対応等をとおして農業の省力化、効率化、合理化を図る。またこれらにより生産性の向上、高収益作物の作付けを促し、もって農地集積率の向上、農業競争力を強化する。
手段 (どうするのか)	必要に応じて施設整備工事を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①用排水改修 2箇所 ②頭首工改修 1箇所 ③農道改修 1箇所	平成29年度 ①ほ場整備 1箇所	平成30年度 ①ほ場整備 1箇所 ②水路改修 1箇所	令和元年度 ①ほ場整備 1箇所	令和2年度 ①ほ場整備 1箇所	
	年度別実績	①用排水改修 2箇所 ②頭首工改修 1箇所 ③農道改修 1箇所	①ほ場整備 1箇所	①ほ場整備 1箇所 ②水路改修 1箇所	①ほ場整備 1箇所		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	26,596	33,915	19,729	30,965	0	
	直接経費 A	15,767	22,936	8,864	20,180	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,493	15,710	2,434	13,045	0
		地方債	0	0	0	2,400	0
		その他	2,808	3,885	1,536	4,230	0
一般財源	2,466	3,341	4,894	505	0		
人件費 B	10,829	10,979	10,865	10,785	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	整備済農業用施設	単位	箇所	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		(指標の説明)			実績	3	1	2	1	1	
	2			目標	0	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	
	3			目標	0	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P174(農080)</p> <p>【事業の概要】 老朽化施設の更新、用排水施設増設など農業水利施設の整備、暗渠排水などの農地の整備をきめ細かく実施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに、経営規模拡大や戦略作物・地域振興作物の生産を促進する。 ・実施箇所 良田地区 ・事業内容 農業用排水路整備・区画整理 ・事業費 18,079千円(負担割合：国50%、県15%、市15%、地元20%) ・事務費 250千円</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 22,936千円 ほ場整備1式 平成30年度 8,528千円 ほ場整備1式 令和元年度 12,673千円 ほ場整備1式</p> <p>【今後の課題・方向性】 市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部営農活動に支障が出ている箇所もある。今後も老朽化箇所の改修を年次ごとに実施していく必要がある。実施箇所を検討しながら農業基盤の整備により農業生産活動の安定化を図っていく。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の負担金は地元負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	整備済農業用施設	67%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	今年度予定していた圃場整備事業が完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	良田地区の圃場整備が完了し、営農環境の改善が図られた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>老朽化等による農業用施設等の更新や改修を計画的に行う必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015702	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	特定農業用管水路等特別対策事業(湖山砂丘)		所属名	農林水産部 農村整備課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 令和4年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	湖山砂丘特定農業用管水路等特別対策事業費		予算事業コード	01-05-01-05-04-45	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山地区に存在する畑地灌漑施設の石綿管水路
意図 (どのような状態 にするために)	石綿に起因する健康被害への影響を未然に防止する
手段 (どうするのか)	県営事業で石綿管の更新を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①管路工 1式	平成29年度 ①管路工 1式	平成30年度 ①管路工 1式	令和元年度 ①管路工 1式	令和2年度 ①管路工 1式	
	年度別実績	①管路工 1式	①管路工 1式	①管路工 1式	①管路工 1式		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,520	8,286	8,673	12,817	0	
	直接経費 A	4,376	8,140	8,528	12,673	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	3,900	7,326	7,600	11,400	0
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	144	146	145	144	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	施設改修箇所数	単位	式	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		(指標の説明)			実績	1	1	1	1	1	0
	2				目標	0	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	0
	3				目標	0	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P170(農071)</p> <p>【事業の概要】 石綿管使用の管水路を全体的に変更・更新することで、石綿に起因する健康被害等への影響を未然に防止し、かつ用水確保の効率化に伴う農業経営安定及び維持を図る。 ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成27年度～令和4年度 ・事業費 1,630,000千円 ・負担区分 国55% 県34% 市9% 地元2% ・事業内容 石綿管更新 L=28,595m ・受益 戸数：479戸 面積：97.3ha</p> <p>【事業の成果】 (市負担金額) 平成29年度 8,140千円 平成30年度 7,668千円 令和元年度 6,571千円 (翌年度繰越額 4,769千円)</p> <p>【今後の課題・方向性】 令和4年度の完了を目指し、事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	施設改修箇所数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通りの事業進捗が図られた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	管路整備を行った区間の機能回復が図られた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 引き続き、砂丘農業の要である畑地かんがい施設の更新を進める。		

事務事業評価シート

事務事業コード	015800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	農業農地施設保全合理化事業		所属名	農林水産部 農村整備課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 令和元年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名		6人	6人	予算事業コード	01-05-01-05-60-01
	農業用施設保全合理化事業費					

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	老朽化した用水路などの農業施設
意図 (どのような状態 にするために)	計画的に補修や更新を行う。
手段 (どうするのか)	効率的な更新計画を策定する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①計画策定 2施設	①計画策定 0施設	①計画策定 1施設	①計画策定 0施設	
		①計画策定 2施設 ・大出土地改良区(用水路) ・西円通寺排水機場	①計画策定 0施設	①計画策定 0施設	①計画策定 0施設		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,382	366	362	0	0	
	直接経費 A	16,299	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	16,299	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	1,083	366	362	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.05	0.05	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	計画策定施設数	施設	目標	2
	(指標の説明)		実績	2	0	0	0	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要書目次：当初予算（なし）</p> <p>【事業の概要】 老朽化した農業用施設について機能診断や補修計画の策定等を行い、施設維持管理の合理化を進めることで、施設の長寿命化や安全性の向上を図る。不慮の故障や破損を減らすことで安定した農業基盤の保持を行う。 ・事業主体 鳥取市 ・事業年度 平成27年度～令和2年度 ・負担区分 国100% ・事業費 28,100千円 ・事業内容 農業施設の機能保全計画策定</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 0円 平成30年度 0円 令和元年度 0円</p> <p>【今後の課題・方向性】 策定した保全計画に基づき農業施設の改築、修繕等の機能保全を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	計画策定施設数	100%				
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	令和元年度は事業実施箇所無し。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業スケジュールの見直しを行い、事業実施は令和3年度以降とする。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

老朽化が進行する農業用施設等の長寿命化を図るためには、機能保全計画を策定し、計画的に事業実施する必要がある。

事務事業評価シート

事務事業コード	015900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業		所属名	農林水産部 農村整備課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市とっとり共生の里保全活動 推進事業補助金交付要綱等
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		予算事業コード	01-05-01-05-61-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	交流活動を通じて農業・農村の保全意識を高め、新たな活動により生産基盤の保全や自立的な農業を行おうと意欲的に取り組む集落地域
意図 (どのような状態 にするために)	地域貢献に前向きな企業や自治会・企業等の外部サポーターとの協働により、低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、意欲的に生産基盤の保全・自律的な農業を行う集落・地域に対して支援することで、交流活動を通じた農業・農村の保全意識を高める。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 企業との連携協定により農地・用水路・農道などの地域資源保全活動、営農支援を行うとともに、6次産業化や特産品開発に必要な経費について、締結協定に対し補助を行う。 都市部の町内会等の組織との協定を締結し、資源維持保全作業や農業体験等を実施する協定に対し補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①共生の里推進加速化 事業事業費 600千 円(1協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 1,170千 円(3協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 1,80 0千円(3協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 780千円(3協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 1,50 0千円(3協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 195千円(1協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 1,50 0千円(3協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 600千 円(2協定)	
	年度別実績	①共生の里推進加速化 事業事業費 600千 円(1協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 1,170千 円(3協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 1,80 0千円(3協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 780千円(3協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 1,50 0千円(3協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 195千円(1協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 1,50 0千円(3協定)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,101	8,435	3,868	3,657	0	
	直接経費 A	1,770	2,580	1,695	1,500	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	1,180	1,720	1,130	1,000	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	590	860	565	500	0		
人件費 B	4,331	5,855	2,173	2,157	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.60	0.80	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	共生の里推進加速化事業	協定	目標	1	3	3	3	2	
				実績	1	3	3	3	0	
	(指標の説明)									
	2	むら・まち支え合い共生促進事業	協定	目標	3	3	1	0	0	
				実績	3	3	1	0	0	
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-30-8316</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P176(農084)</p> <p>【事業の概要】 地域貢献に前向きな都市部の自治会・企業等の外部サポーターとの協働により、低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、意欲的に生産基盤の保全・自立的な農業を行う集落・地域に対して支援することで、交流活動を通じた農業・農村の保全意識を高める。 共生の里推進加速化事業 企業との連携により農地・用水路・農道などの地域資源保全活動や営農支援等に必要経費に対して助成する。 ・事業費 1,500千円 3協定(負担割合：県2/3、市1/3)</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 2,580千円 平成30年度 1,695千円 令和元年度 1,500千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 企業や自治会等、外部サポーターとの協働による低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、地域振興を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	共生の里推進加速化事業	100%	100%	100%	100%	
	2	むら・まち支え合い共生促進事業	100%	100%	100%		
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り事業実施できた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業計画に基づき、予定通り取り組みが図られた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>新規の団体がなく、実施団体が減少してきている。企業や自治会等、外部サポーターの参加による農山村での農業・農村の活性化を図るため、県と連携して取組を進める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016100	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	造林事業		所属名	農林水産部	林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	造林事業費	新規林業従事者数		6人	6人
					予算事業コード	01-05-02-05-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林施業がおくれて林地の荒廃が進んでいる森林
意図 (どのような状態にするために)	適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	間伐、竹林整備、クヌギ造林などを支援し、森林整備を進める。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別実績	①間伐 271.02ha ②広葉樹植林 54.7ha	①間伐 284.71ha ②広葉樹植林 33.3ha	①間伐 336.60ha ②広葉樹植林 35.74ha	①間伐 303.08ha ②広葉樹等植林 24.36ha	①間伐 271.02ha ②広葉樹等植林 54.7ha
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	22,823	22,277	24,365	20,213	0
	直接経費 A	22,101	21,545	23,641	19,494	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
地方債	18,000	15,800	17,400	15,700	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	4,101	5,745	6,241	3,794	0	
人件費 B	722	732	724	719	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	間伐面積	ha	目標	454	450	450	450	450
				実績	271.02	284.71	336.6	303.08
(指標の説明)								
2	広葉樹等植林面積	ha	目標	86	80	80	80	80
				実績	54.7	33.3	35.74	24.36
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P157(農045)</p> <p>【事業の概要】 適正な森林造成計画を効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">間伐・広葉樹植林</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">21,545千円</td> <td style="text-align: center;">318.01ha</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">23,641千円</td> <td style="text-align: center;">372.34ha</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">19,494千円</td> <td style="text-align: center;">327.44ha</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後も間伐、広葉樹等植林などを支援し、森林整備を進める。</p>		事業費	間伐・広葉樹植林	平成29年度	21,545千円	318.01ha	平成30年度	23,641千円	372.34ha	令和元年度	19,494千円	327.44ha
	事業費	間伐・広葉樹植林											
平成29年度	21,545千円	318.01ha											
平成30年度	23,641千円	372.34ha											
令和元年度	19,494千円	327.44ha											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	間伐面積	60%	63%	75%	67%	
	2	広葉樹等植林面積	64%	42%	45%	30%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	台風等の豪雨により作業道復旧等に時間を要したため、間伐・造林施業に遅れを生じた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>森林吸収源対策の取り組みを進めるため、継続して支援する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016200	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	間伐搬出支援事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	間伐搬出支援事業費		予算事業コード	01-05-02-02-05-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者・森林組合等
意図 (どのような状態 にするために)	間伐した木材の搬出を支援し間伐施業の促進とその利用拡大を図る。
手段 (どうするのか)	搬出した間伐材の材積に応じ助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別実績	①間伐材搬出に係る経費を助成	①間伐材搬出に係る経費を助成	①間伐材搬出に係る経費を助成	①間伐材搬出に係る経費を助成	①間伐材搬出に係る経費を助成
		①間伐材搬出支援を実施 ＜実績＞ 搬出量 43,929立米 補助金 21,954,414円	①間伐材搬出支援を実施 ＜実績＞ 搬出量 46,470立米 補助金 23,235,065円	①間伐材搬出支援を実施 ＜実績＞ 搬出量 43,765立米 補助金 21,882,441円	①間伐材搬出支援を実施 ＜実績＞ 搬出量 38,956立米 補助金 19,477,862円	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	25,896	23,967	22,607	20,197	0
	直接経費 A	25,174	23,235	21,883	19,478	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	25,174	23,235	21,883	19,478	0	
人件費 B	722	732	724	719	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]木材搬出量	m3	目標	45000
			実績	43929	46470	43765	38956	0
	(指標の説明) 間伐した木材の搬出量。基準値は平成26年度実績。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P157(農046)</p> <p>【事業の概要】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 間伐材搬出支援 38,956m³ × 500円 = 19,478千円</p> <p style="text-align: center;">事業費</p> <p>平成29年度 23,235千円 平成30年度 21,883千円 令和元年度 19,478千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、搬出を支援する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	【KPI】木材搬出量	98%	97%	84%	71%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	台風等の豪雨により、作業道の復旧等に時間を要したため、間伐施業に遅れを生じた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>適正な森林整備には間伐施業は不可欠であり、支援の継続は必要である。 間伐材は木質バイオマス燃料として需要が高まっており、継続して支援する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	竹林整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	竹林整備事業費		予算事業コード	01-05-02-02-05-08	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	手つかずの荒廃竹林
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林を適正に管理する。
手段 (どうするのか)	アクセス道整備、抜き伐りなどの取り組みを支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	平成29年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	平成30年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	令和元年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	令和2年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	
	年度別実績	①放置竹林整備への助成を実施 ＜実績＞ 抜き取り面積 4.71ha 補助金額 17,980千円	①放置竹林整備への助成を実施 ＜実績＞ 抜き取り面積 5.98ha 補助金額 19,184千円	①放置竹林整備への助成を実施 ＜実績＞ 抜き取り面積 7.17ha 補助金額 23,924千円	①放置竹林整備への助成を実施 ＜実績＞ 抜き取り面積 4.52ha 補助金額 18,183千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	18,702	19,916	24,648	18,903	0	
	直接経費 A	17,980	19,184	23,924	18,184	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	16,923	18,055	22,538	17,137	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		抜き伐り	ha	目標	7.35	5.8	5.8	5.8	5.8
	2	(指標の説明)		実績	4.71	5.98	7.17	4.52	0
				目標	0	0	0	0	0
	3	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
				目標	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P158(農047)</p> <p>【事業の概要】 拡大する竹対策として、鳥取県環境保全税を財源に竹林の抜き取り等を実施し、竹林整備に取り組む。</p> <p>【事業の成果】 放置竹林整備の支援を行った。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">抜き取り面積</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">19,184千円</td> <td style="text-align: right;">5.98ha</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">23,924千円</td> <td style="text-align: right;">7.17ha</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: right;">18,184千円</td> <td style="text-align: right;">4.52ha</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 放置竹林対策として有効であるため、継続して実施する。</p>		事業費	抜き取り面積	平成29年度	19,184千円	5.98ha	平成30年度	23,924千円	7.17ha	令和元年度	18,184千円	4.52ha
	事業費	抜き取り面積											
平成29年度	19,184千円	5.98ha											
平成30年度	23,924千円	7.17ha											
令和元年度	18,184千円	4.52ha											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	抜き伐り	64%	103%	124%	78%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	計画予定地の一部で、事業の実施が困難となったため、年度目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>鳥取県森林環境保全税を財源に、引き続き竹林対策を実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	森づくり作業道整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人		
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3		
目標の種別	新規林業従事者数		6人	6人	運営方法	補助金交付
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	森づくり作業道整備事業費		予算事業コード	01-05-02-16-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者及び森林組合等
意図 (どのような状態にするために)	森林整備に必要な路網の整備を促進し、低コストで効率的な林業生産活動につなげる。
手段 (どうするのか)	作業道を整備する事業者へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別計画	①作業道の整備に係る経費助成	①作業道の整備に係る経費助成	①作業道の整備に係る経費助成	①作業道の整備に係る経費助成	①作業道の整備に係る経費助成
年度別実績	①作業道の整備に係る経費助成の実施 <作業道の整備実績> 路線数 71路線 整備距離 39,219m 補助金額 8,683,635円	①作業道の整備に係る経費助成の実施 <作業道の整備実績> 路線数 54路線 整備距離 29,463m 補助金額 6,253,830円	①作業道の整備に係る経費助成の実施 <作業道の整備実績> 路線数 51路線 整備距離 38,433m 補助金額 9,507,470円	①作業道の整備に係る経費助成の実施 <作業道の整備実績> 路線数 68路線 整備距離 46,371m 補助金額 15,664,400円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	9,406	6,986	10,231	16,383	0
	直接経費 A	8,684	6,254	9,507	15,664	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	8,684	6,254	9,507	15,664	0	
人件費 B	722	732	724	719	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	作業道整備	km	目標	56
			実績	39.219	29.463	38.433	46.371	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P159(農050)</p> <p>【事業の概要】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道の整備を促進する。 造林作業道整備の補助金(条件付きで普通林17%、保安林5%を上乗せ) 国、県の補助金と合わせると、補助率85%</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 6,254千円 54路線 29,463m 平成30年度 9,507千円 51路線 38,433m 令和元年度 15,664千円 68路線 46,371m</p> <p>【今後の課題・方向性】 国・県の補助事業とあわせて、継続して補助を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	作業道整備	70%	47%	61%	74%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	台風及び豪雨により、事業進捗が遅れたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>森林整備に必要な路網の整備を促進するため、継続して支援を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016501	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	漁港施設維持管理事業		所属名	農林水産部 林水産課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名		6人	6人	予算事業コード	01-05-03-02-21-01
	漁港施設維持管理事業費					

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	岩戸漁港、酒津漁港、船磯漁港、夏泊漁港、青谷漁港、長和瀬漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態 にするために)	漁港及び関連施設の適正な維持管理を行い、安全安心な漁港利用に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設の維持管理を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理	
年度別実績	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,348	73,360	83,317	45,057	0	
	直接経費 A	10,182	71,164	81,144	42,900	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	297	7,989	9,551	3,365	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	54	3,253	3,274	3,394	0
一般財源	9,831	59,922	68,319	36,141	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	出漁日数(福部町)	日	目標	50	50	50	50	50
				実績	59	63	65	92
(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数								
2	出漁日数(気高町)	日	目標	150	150	150	150	150
				実績	175	167	185	184
(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数								
3	出漁日数(青谷町)	日	目標	130	130	130	130	130
				実績	155	155	172	155
(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P164(農060)</p> <p>【事業の概要】 第1種漁港管理者としての漁港及び関連施設の維持管理を行う。</p> <p>【事業の成果】 出入港等、安心安全な漁港利用に寄与した。 ・主な維持管理内容 漁港浚渫(岩戸：927m³、酒津：970m³、船磯：3,700m³、 夏泊：830m³、長和瀬：1,670m³) 漁港施設修繕他 一式</p> <p style="text-align: center;">事業費</p> <p>平成29年度 71,164千円 平成30年度 81,144千円 令和元年度 42,900千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 漁港施設の機能を維持しつつ、コスト縮減を図る必要がある。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の使用料は、漁港施設使用料。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	出漁日数(福部町)	118%	126%	130%	184%	
	2	出漁日数(気高町)	117%	111%	123%	123%	
	3	出漁日数(青谷町)	119%	119%	132%	119%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>第1種漁港管理者として、施設の適正な維持管理を行いつつ、コスト縮減を図る必要がある。</p>		

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-30-8302</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P139(農009)</p> <p>【事業の概要】 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供する。 鳥取地域6地区(里仁・布勢・滝山・叶・祢宜谷・吉岡)の農園を希望者に貸し出す。 開設区画数：全348区画(66㎡：94区画、33㎡：254区画)</p> <p>【事業の成果】 平成29年度利用率 82.4% 329区画/399区画 平成30年度利用率 84.4% 337区画/399区画(湖山地区閉園) 令和元年度利用率 76.7% 267区画/348区画</p> <p>【今後の課題・方向性】 運営管理並びに維持管理の民間等への委託を検討。 その他財源の諸収入は、市民農園利用料。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	利用率	95%	93%	94%	89%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>市民農園の需要に合わせた運営規模の見直しを行い、また、作付けに適した区画の提供を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016700	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	野生鳥獣被害防止事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	野生鳥獣被害防止事業費		予算事業コード	01-05-02-01-07-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	有害鳥獣等による農作物被害等への対策支援。
意図 (どのような状態 にするために)	イノシシ等の被害対策を図ることにより、農林漁業者の生産活動や住民の安全な生活を確保できる。
手段 (どうするのか)	被害防止対策として、侵入防止柵の設置に対する支援、鳥獣個体数減少対策としての捕獲奨励金の交付など。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別実績	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=65,512m ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=98,805m ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=32,798m ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=19,158m ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵)L=19,158m ②捕獲奨励金 ③捕獲檻
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	103,794	88,679	100,784	107,837	0	
	直接経費 A	63,308	47,815	61,075	68,332	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	29,675	22,914	25,039	33,369	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	143	0	148	139	0
人件費 B	40,486	40,864	39,709	39,505	0		
職員数の内訳	正規職員	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	
	嘱託職員	4.00	4.00	4.00	4.00	5.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]狩猟者登録数	人	目標	407
			実績	463	439	485	477	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
2	[KPI]ニホンジカ捕獲頭数	頭	目標	700	800	800	800	800
			実績	924	1021	1551	2427	0
	(指標の説明) 実績値は市から奨励金を支払う捕獲頭数と指定管理捕獲等事業(県事業)での捕獲頭数の合算							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥獣対策係 0827-30-8303</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P151(農033) 12月補正・P14(農004)</p> <p>【事業の概要】 イノシシ等による被害防止対策を支援。農業等への被害防止を図り、本市農業振興を図る。 ・捕獲奨励金交付 ・侵入防止柵設置への補助(農業者等で組織する団体) ・狩猟免許取得への補助(第1種銃猟、わな免許新規取得)</p> <p>【事業の成果】 ・捕獲実績 イノシシ3,645頭・アライグマ12頭・シカ1,773頭・ヌートリア570頭・カラス460羽 ・侵入防止柵(ワイ-メッシュ、電気柵)L=19,158m ・狩猟免許新規取得等 3名 平成29年度 47,815千円 平成30年度 61,075千円 令和元年度 68,332千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 侵入防止柵の設置や捕獲対策に努め、捕獲頭数がそれぞれ増え、被害額も減少したが、サルの被害が増えており、地域ぐるみでの取組みを推進していく。</p> <p>その他財源の諸収入は、鹿野町イノシシ食肉解体処理施設管理費。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1 [KPI]狩猟者登録数	114%	105%	97%	95%	
	2 [KPI]ニホンシカ捕獲頭数	132%	128%	194%	303%	
	3					

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	地域からの要望にはほぼ対応できた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	捕獲頭数は、目標を大きく上回ったがかなり増えてきている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		

侵入防止柵の効果的な設置方法の普及、管理方法の徹底、捕獲効率アップなどを行い、引き続き被害防止を図る。

事務事業評価シート

事務事業コード	016800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域米販売拡大支援事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成26年度 ~ 令和元年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域米販売拡大支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-49-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	地域の特色ある米を集荷・出荷する施設であるライスセンターを改修し、高い品質と量を確認し、有利販売を行っていく。
手段 (どうするのか)	老朽化しているライスセンターの再整備を行う経費に対し支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①ライスセンターの再整備1件	①ライスセンターの再整備1件	①ライスセンターの再整備1件	①ライスセンターの再整備1件	①育苗センターの再整備1件
		①河原ライスセンターの再整備の実施	①気高・青谷ライスセンターの再整備の実施	①豊実ライスセンターの再整備の実施	①鳥取カントリーエレベーターの再整備の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,961	10,366	9,756	9,930	0	
	直接経費 A	9,600	10,000	9,394	9,570	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	9,600	10,000	9,394	9,570	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	361	366	362	360	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	鳥取市内に在るライスセンターの改修 (指標の説明)	箇所	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	2	1	1
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P144(農020)</p> <p>【事業の概要】 地域の特別栽培米等の特色ある米や安心安全な米の集荷量の増加を図り、地域の『冠米』として産地表示販売を行うことで優良企業との高値取引や直販率の向上に繋げるため、ライスセンターの再整備を行う鳥取いなば農業協同組合に対し支援する。</p> <p>【事業の成果】 鳥取いなば農協：鳥取カントリーエレベーター改修 9,570千円 平成29年度 10,000千円 平成30年度 9,394千円 令和元年度 9,570千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 稲作農家が減少していく中、JAグループを主体とした直販率(直接取引)の向上が不可欠であり、JAグループと行政が一体となって水田経営方針を検討し、耕作放棄地の解消や担い手育成など稲作農業の体質強化を推進していく。 その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	鳥取市内に在るライスセンターの改修	100%	200%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>引き続きライスセンター等の改修を実施するとともに、施設の統廃合など効果的な集荷体制を検討していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	園芸産地活力増進事業		所属名	農林水産部	農政企画課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業区分区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	園芸産地活力増進事業費		予算事業コード	01-05-01-03-48-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業協同組合、集落、生産者グループ、市が認める農業者（認定就農者は除く）
意図 (どのような状態 にするために)	地域の特色を生かした特産物の導入や特産品の開発を行い、兼業農家や定年帰農者など新たな担い手の育成を図り、地域の活性化と農地の保全を目指す。
手段 (どうするのか)	生産体制づくり、販売を目的とした農産物や農産加工品の試作、商品開発、販路開拓、耕作放棄地の再生等に必要となる費用の一部を支援。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	平成29年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	平成30年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	令和元年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	令和2年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	
	年度別実績	①補助:1件 ②補助:5件 ③補助:1件	①補助:0件 ②補助:2件 ③補助:1件	①補助:1件 ②補助:1件 ③補助:0件	①補助:2件 ②補助:2件 ③補助:0件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,840	2,760	3,222	12,011	0	
	直接経費 A	4,118	2,028	2,498	11,292	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,118	2,028	1,666	7,528	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	3,540	0
一般財源	0	0	832	224	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	増反面積	単位	a	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					実績	40	40	40	40	40	
	2	(指標の説明) 園芸品目の作付増反面積			目標	0	0	0	0	0	
					実績	46.5	129.4	3	35	0	
	3	(指標の説明)			目標	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体制】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P144(農019)</p> <p>【事業の概要】 発展・成長タイプ 主要園芸品目に係る共同機械や出荷調整機械等の導入支援(補助率1/3 補助上限20,000千円/対象者) 中山間地域等特産物育成タイプ 野菜等の生産体制づくりや新技術や新品種の導入に必要な経費の支援(補助率1/2 補助上限2,000千円/対象者・最長2年間) 経営多角化タイプ(多角化支援) 大規模稲作農家(概ね20ha以上)が新規園芸作物導入に要する経費等の支援(補助率2/3 補助上限3,000千円/対象者・最長2年間)</p> <p>【事業の成果】 発展・成長タイプ 令和元年度 1件(らっきょう計量機、トラックスケール) 中山間地域等特産物育成タイプ 令和元年度 3件(ニンジン掘取機、アビオス草刈機、らっきょう移植機) 経営多角化タイプ(多角化支援) 令和元年度 0件</p> <p><実績> 平成29年度 2,028千円 平成30年度 2,498千円 令和元年度 11,292千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も県と調整を図りながら継続して実施 その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	増反面積	116%	324%	8%	88%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

県と連携を図りながら、強い産地づくり及び魅力ある中山間農業の推進に向けて、計画的に事業を実施していく。

事務事業評価シート

事務事業コード	017000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域米消費拡大対策事業		所属名	農林水産部 農政企画課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域米消費拡大対策事業費		予算事業コード	01-05-01-03-05-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学生
意図 (どのような状態 にするために)	小学生の食と農に対する関心を深め、米の消費拡大につなげる。
手段 (どうするのか)	米づくり体験を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	①学童農園実施委託
	年度別実績	①学童農園実施委託 実施団体数:25団体 ②米料理教室実施 実施回数:27回	①学童農園実施委託 実施団体数:25団体 ②米料理教室実施 実施回数:25回	①学童農園実施委託 実施団体数:23団体 ②米料理教室実施 実施回数:22回	①学童農園実施委託 実施団体数:20団体 ②米料理教室 未実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,027	2,049	1,983	1,275	0	
	直接経費 A	1,305	1,317	1,259	556	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	369	445	417	174	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	936	872	842	382	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	取組小学校数	校	目標	25	25	25	25	25
				実績	25	25	23	20
(指標の説明) 取組小学校数(米づくり体験学童農園)								
2	取組回数	回	目標	25	25	25	25	25
				実績	27	25	22	0
(指標の説明) 取組回数(米料理教室)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304
	【10次総の施策体系】2104
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P139(農010)
	【事業の概要】 学校教育分野において農作物の消費拡大及び食育の推進を図るため、小学校及び義務教育学校において「米づくり体験」を実施する。
	【事業の成果】

	米づくり体験	学童農園実施校	米料理教室実施校
平成29年度	1,317千円	25校	19校
平成30年度	1,259千円	23校	17校
令和元年度	556千円	20校	(事業廃止)

【今後の課題・方向性】 次世代を担う児童が様々な農作物の農作業を体験することにより、本市の農業振興並びに農作物の消費拡大を図るため、継続して実施する。
--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	取組小学校数	100%	100%	92%	80%	
	2	取組回数	108%	100%	88%		
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	令和元年度から米料理教室を廃止したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	多くの小学校及び義務教育学校での取組みが進むよう、関係機関と連携をとりながら事業を進めていく。		
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>			

事務事業評価シート

事務事業コード	017100	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	地産地消推進の店認証事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地産地消推進の店認証事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地元産の農林水産物を積極的に活用する飲食店等
意図 (どのような状態にするために)	地元農林水産物を活用していることを市民へアピールし、生産と消費の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	地産地消の店認定及び認定証の交付並びにホームページへの掲載を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①「地産地消の店」認定83件	①「地産地消の店」認定84件	①「地産地消の店」認定89件	①「地産地消の店」認定88件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,445	1,465	1,743	1,613	0	
	直接経費 A	1	1	294	175	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	97	55	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1	1	197	120	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	「鳥取市地産地消の店」認定件数	件	目標	90
			実績	83	84	89	88	0
	(指標の説明) 26年度認定実績							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282</p> <p>【10次総の施策体系】2103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P101(経004)</p> <p>【事業の概要】 地元の農林水産物を市内の飲食店が積極的に活用することにより地産地消を市民にアピールするとともに、生産と消費の拡大を図るため、一定基準を満たした飲食店等を「鳥取市地産地消の店」として認定する。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度認定店数 84店 平成30年度認定店数 89店 令和元年度認定店数 88店</p> <p>【今後の課題・方向性】 地産地消に対する意識を向上させるため、様々な媒体を利用しながら、引き続き地産地消の店をPRしていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	「鳥取市地産地消の店」認定件数	92%	93%	99%	98%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>引き続き、様々な媒体を利用しながら地産地消の店をPRしていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	017200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	食育アドバイザー派遣事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成15年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	その他
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	食育アドバイザー派遣事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	食育アドバイザー
意図 (どのような状態 にするために)	小・中学生、保育園児・保護者や市街地の消費者に、地元農林水産物や地域の食材を使った伝統料理等に対する理解を深めてもらうことで、食文化の継承と地産地消の促進を図る。
手段 (どうするのか)	小・中学校等での食育教育や公民館主催の料理講習など、各種団体が行う地産地消等に関する研修会などに「食育アドバイザー」を派遣する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	①「食育アドバイザー」の派遣	①「食育アドバイザー」の派遣	①「食育アドバイザー」の派遣	①「食育アドバイザー」の派遣	①「食育アドバイザー」の派遣	
年度別実績	①「食育アドバイザー」の派遣 51件 878名参加	①「食育アドバイザー」の派遣 50件 903名参加	①「食育アドバイザー」の派遣 53件 861名参加	①「食育アドバイザー」の派遣 25件 397名参加			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,707	1,734	1,719	1,573	0	
	直接経費 A	263	270	270	135	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	74	91	89	42	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	189	179	181	93	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	派遣回数	回	目標	47	47	47	47	47
				実績	51	50	53	25
(指標の説明) 平成27年度実績								
2	研修会等への参加人数	人	目標	846	846	846	846	846
				実績	878	903	861	397
(指標の説明) 平成26年度実績								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P101(経003)</p> <p>【事業の概要】 優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人たちを「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地区公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深める。 食育アドバイザー謝礼：派遣1回当たり 5千円/人</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 登録人数17人 派遣回数50件 参加人数903人 平成30年度 登録人数14人 派遣回数53件 参加人数861人 令和元年度 登録人数12人 派遣回数25件 参加人数397人</p> <p>【今後の課題・方向性】 食育アドバイザーの登録人数の増大を図りながら事業を継続し、地元食材を活用した伝統料理等への理解を深め、地産地消意識の醸成を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	派遣回数	109%	106%	113%	53%	
	2	研修会等への参加人数	104%	107%	102%	47%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	派遣実績の多いアドバイザーの登録辞退に伴い、対象の教室が減少したため。食育アドバイザーの増員についても対応が必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>地産地消の推進は第1次産業の振興に資することもあり、事業を継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	017301	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	農産物生産振興事業(らっきょう生産振興大会)		所属名	福部町総合支所 福部町総合支所産業建設課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	らっきょう生産振興大会助成事業		予算事業コード	01-05-01-03-31-11	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取いなば農業協同組合。
意図 (どのような状態 にするために)	生産者の技術向上及び経営意欲の高揚を促進し、地域特産物の生産振興と産地の維持発展を図る。
手段 (どうするのか)	らっきょう生産振興大会経費のうちの2分の1を乗じて得た額を予算の範囲内で補助。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①らっきょう生産振興大会開催経費助成	①らっきょう生産振興大会開催経費助成	①らっきょう生産振興大会開催経費助成	①らっきょう生産振興大会開催経費助成	①らっきょう生産振興大会開催経費助成
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	554	623	533	531	0	
	直接経費 A	193	257	171	171	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	193	257	171	171	0		
人件費 B	361	366	362	360	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	らっきょう栽培面積	ヘクタール	目標	100
	(指標の説明)		実績	114	113	115	114	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P256(支所007)</p> <p>【事業の概要】 補助金名：らっきょう生産振興大会助成事業補助金 目的：らっきょう生産に一層の意欲向上を図る。 内容：らっきょう生産振興大会経費のうち2分の1を乗じて得た額を予算の範囲内で補助。 補助対象者：鳥取いなば農業協同組合。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 257千円 平成30年度 171千円 令和元年度 171千円 ・生産者の技術向上及び経営意欲の高揚を促進し、地域特産物の生産振興と産地の維持発展を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市福部町の特産品である砂丘らっきょうの品質向上と栽培面積の維持発展を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	らっきょう栽培面積	114%	113%	115%	114%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>生産者の技術向上及び経営意欲の高揚を促進し、地域特産物の生産振興と産地の維持発展を図るために、是非とも必要な事業である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	017302	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	農産物生産振興事業(ふるさとの味祭り)		所属名	佐治町総合支所 佐治町総合支所地域振興課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ふるさとの味祭り事業費補助金(佐治町地域振興課)			予算事業コード	01-05-01-02-03-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域住民を中心とした市民等
意図 (どのような状態にするために)	地域の農業振興を図るとともに、地域の伝統文化の継承等を通じて誇りの持てる地域づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品等の販売、郷土芸能の発表等を行う「佐治ふるさと祭り」を開催する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①「佐治ふるさと祭り」を開催する。	①「佐治ふるさと祭り」を開催する。	①「佐治ふるさと祭り」を開催する。	①「佐治ふるさと祭り」を開催する。	①「佐治ふるさと祭り」を開催する。
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,449	3,546	3,523	3,507	0	
	直接経費 A	1,283	1,350	1,350	1,350	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	725	794	632	528	0
一般財源	558	556	718	822	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	参加者、来場者数	人	目標	1000
	(指標の説明)		実績	1000	1000	1000	800	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P260(支所016)</p> <p>【事業の概要】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 1,350千円 入込客数1,000人 平成30年度 1,350千円 入込客数1,000人 令和元年度 1,350千円 入込客数 800人</p> <p>【今後の課題・方向性】 佐治地域の情報発信・活性化策として、より一層の内容充実を図っていく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	参加者、来場者数	100%	100%	100%	80%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>「佐治ふるさと祭り」は佐治地域の秋のイベントとして定着して、佐治小学校の学習発表会も同時開催するなど町民の滞在時間も長くなっており、今後、更に佐治町らしさを高め、また市民ニーズに合わせて継続して改善していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	036100	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市6次産業化ネットワークシステム運用事業		所属名	農林水産部 農政企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	外部委託
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市6次産業化ネットワークシステム運用事業費		予算事業コード	01-05-01-03-54-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農林漁業者、企業等
意図 (どのような状態にするために)	6次産業化の創出と販路の拡大
手段 (どうするのか)	ネットワークシステムを構築・運用しマッチングを図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画			①6次産業化システム マッチング 3件	①6次産業化システム マッチング 3件	①6次産業化システム マッチング 3件	
	年度別実績			①6次産業化システム マッチング 1件	①6次産業化システム マッチング 0件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	1,115	1,062	0	
	直接経費 A	0	0	753	702	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	753	702	0		
人件費 B	0	0	362	360	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	6次産業化システムマッチング件数	件	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：掲載なし</p> <p>【事業の概要】 農林水産物の生産情報や食品製造業の持つ加工技術、商品開発のアイデアやノウハウ等、生産・加工・流通・販売に関する「一元的に集約・管理・提供できる」ネットワークシステムを構築し、地域内外の企業間での自由な情報交換が可能となり、マッチングの促進による6次産業化の取組機会の創出と販路拡大を図る。 6次産業化ネットワークシステムの運用：平成30年度運用開始 ・保守委託料 ・マッチング交流会の開催 ・システムマッチング促進営業等</p> <p>【事業の成果】 令和元年度マッチング件数 実績なし</p> <p>【今後の課題・方向性】 1次生産者から2次・3次産業者の登録者数を増やし、魅力あるマッチングシステムにしていくことが必要であり、引き続き、県産業振興機構や鳥取商工会議所等と連携し、営業活動を進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	6次産業化システムマッチング件数			100%		
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>商談会、催事等で「ロクジカとっとり」の情報発信を行い、サイトへの問い合わせも多数あったが、マッチングへつなげることができなかった。マッチングにつなげるため、広く営業活動を行っていく。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>1次生産者から2次・3次産業者の登録者数を増やし、魅力あるマッチングシステムにしていくことが必要であり、引き続き、鳥取市6次産業化推進サポートチーム(県産業振興機構や鳥取商工会議所等)で情報を共有し、営業活動を進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	036200	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	次世代農業推進事業		所属名	農林水産部 農政企画課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和4年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	次世代農業推進事業費		予算事業コード	01-05-01-03-37-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業者等
意図 (どのような状態 にするために)	農業者等に対するAIやIoT技術を活用したスマート農業の普及啓発や農業者等が実施する実証事業に対して支援することで、効率的で生産性の高い農業を実現を図る。
手段 (どうするのか)	スマート農業セミナーの開催やスマート農業の実証実験に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画			①スマート農業セミナーの開催 ②スマート農業技術実証事業	①スマート農業セミナーの開催 ②スマート農業技術実証事業	①スマート農業セミナーの開催 ②スマート農業技術実証事業	
	年度別実績			①スマート農業セミナーの開催 2回/年 ②スマート農業技術実証事業 3デバイス(水田水管理システム、有害鳥獣捕獲通知システム、ハウス内環境監視システム)	①スマート農業セミナーの開催 1回/年 ②スマート農業技術実証事業 3デバイス(水田管理システム、有害鳥獣捕獲通知システム、ハウス内環境監視システム)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	14,291	42,121	0	
	直接経費 A	0	0	12,842	40,683	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	2,340	20,248	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	3,595	0
一般財源	0	0	10,502	16,840	0		
人件費 B	0	0	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	[KPI]次世代農業実施経営体	件	目標	0	0	0	2	3	
		実績		0	0	0	2	0		
	(指標の説明) 目標値は2か年累計:H30R1、H29は0件									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P143(農017)</p> <p>6月補正・P19(農001)</p> <p>9月補正・P15(農002)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>本市農業が抱える課題が多くある中、先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化・軽減化、また、本市の自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組むことで、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進的農業技術普及事業 スマート農業の普及・実地検証・JGAP研修会等 ・次世代園芸施設整備推進事業 次世代園芸施設整備に向けた推進体制の構築 ・洗いらくきょう切り機研究開発委託 ・スマート農業実践人材の育成 新規就農者等へのGAP研修等 <p>【事業の成果】</p> <p>スマート農業デバイス(水田管理システム、有害鳥獣捕獲通知システム、ハウス内環境監視システム)実証の実施、先進的な農業生産技術やICTを活用したスマート農業技術の開発及び実証の取組への支援を行った。</p> <p>平成30年度 12,842千円</p> <p>令和元年度 40,863千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>引き続き、啓発セミナーの開催やスマート農業技術(ドローン等)を体験する場を提供し、スマート農業技術の普及に努めるとともに、スマート農機等の導入経費に対する支援策を検討する。</p> <p>その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]次世代農業実施経営体				100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>セミナーの開催やドローン等のスマート農機の体験の場の提供など、スマート農業技術の普及に努めるとともに、スマート農機等の導入経費に対する支援策を検討する。</p>		